



高松市議会 News No.25 香川 洋二

獣医師&学芸員

9月定例会で連続32回目の
一般質問をおこないました。

9月定例会一般会計補正予算
48億1千万円可決

平成22年9月定例会は9月8日から24
日間の会期で開催され、一般会計補正予
算48億1千万円、人事案など30議案
が原案通り可決。

動物ふれあい施設整備 一歩前進（香南アグリーム）

今定例会で「動物ふれあい施設整備」
について質問。栗林公園動物園閉園後
本市では「公的動物ふれあい施設」は
皆無。現代人間社会の歪んだ関係。そ
の中で生命に対する軽視と向かい合
うためには「生き物とのふれあいを通
じ、命の大切さ、共に生きることを学



ぶ施設整備
が必要」と提
案。市長は高
松空港北側
にある（有）
香南町農業
振興公社「香
南アグリー
ム」で複数のヤギを飼育していること
から、「来園した子供たちが飼育して
いるヤギを通じ、命の大切さを知るこ
とは子供たちの健全な人間形成を育
む上で大切。今後子供たちが楽しく安
全にヤギたちと触れ合えるよう施設
を早急に改修し、利用状況や利用者
の意見を踏まえ、香南アグリームを中
心とした動物ふれあい施設の今後の展

開方策等を検討したい」と答弁。
私も30年間動物園獣医師として活
動した経験と人脈を通じ、ふれあい施
設整備推進をサポートしたい。また、
早期整備のためには、市民の応援も不
可欠。



10月2日現在の飼育場と のザーネン種

地域づくりに市職員・OB職員 積極的参加と環境整備

自治会加入率の低下に伴い各種地域
団体の人材不足が深刻。市職員及び
OB職員が積極的に地域団体に参画で
きる環境整備の必要性を質問。当局は
「職員の意識改革の指導と若手職員
のコミュニティー協議会への派遣等
を本年から実施している」と答弁。基
本は職員も議員も一市民であり、相互
扶助する立場である認識が大切。今後、
職員のより一層の地域への参画と今
まで蓄積したOB職員のスキルを大い
に期待。

栗林公園前交番花ノ宮町移転

花ノ宮町の高松南警察署は平成21年春多肥町に移転。それに伴い栗林公園をはさんで立地する栗林公園前交番



も、旧高松南警察署跡地に新築移転予定。新交番の着工時期等は未定。現在の栗林公園

前交番の土地は市有地。地元では高速バスをはじめとするバス停留所前ということで存続を希望。仮に移転しても今以上の土地の利活用を望む。当局は「県から返還の協議があった段階で平成19年に設置した公有財産有効活用等検討委員会において有効活用を検討したい」と答弁。

現代アメリカ教育事情

マグネットスクール

マグネット・スクールとはアメリカで始まった公立学校の学校運営の一種。特別なカリキュラムを持ち、学区を離れ郡や市等周辺地区から児童を磁石



(マグネット)のように集めることから命名。通常アメリカの児童はディストリクトと呼ばれる校区の中から1つの公立学校を選択通学。パーキンス小学校は芸術とスペイン語に特化。希望者は選抜試験を受ける。自然科学系もあり、中学、高校のマグネットスクールと連携。現在米国では公的エリート校になっている。(セントピーターズバーグ市パーキンス小学校の子どもたちによる朝礼放送風景 2010年9月27日撮影)

のように集めることから命名。通常アメリカの児童はディストリクトと呼ばれる校区の中から1つの公立学校を選択通学。パーキンス小学校は芸術とスペイン語に特化。希望者は選抜試験を受ける。自然科学系もあり、中学、高校のマグネットスクールと連携。現在米国では公的エリート校になっている。(セントピーターズバーグ市パーキンス小学校の子どもたちによる朝礼放送風景 2010年9月27日撮影)

9月定例会一般質問

1 栗林公園前交番移転
栗林公園前交番の面積と移転後の市有地返還条件
栗林公園前交番は栗林公園をはさんで立地。多くの観光客が乗降する高速バス等の停留所前ということから、土地の利活用については塩漬けにすべきではない
2 地域活性化
本年4月1日付けの正規職員数および過去5年間の退職職員数
地域づくりに職員自ら参加できる職場環境づくりと現況
退職職員で構成している団体・組織に対し、地域への協力体制を要請する考え
3 青少年健全育成
市内にある青少年健全育成団体の現状
青少年健全育成団体の情報を市民に周知するため、市ホームページ等において積極的に提供する考え
4 学区制度
学区制度の歴史と導入の法的根拠および同制度のメリット
高松市教育委員会は現学区制度を維持するのか。維持するならばその理由
少子化時代を迎え、自由学区制度導入を仮説し、従来の学区制度との比較検討等を行い、マグネットスクールなど夢ある近未来の公立学校のあり方を5人の教育委員が闊達に論議し、市民と共に新しい高松型教育特区を提案するくらいの活性化した教育委員会とする考え
5 動物とのふれあい施設整備
香南アグリームにおけるヤギ舎の施設改修を早急に行い、ヤギを始めとする動物に対する理念、展示指針等を策定。改修後は、ふれあい活動の実績を踏まえ、「動物と共に生きる社会作り」を目標に、本格的な「動物ふれあい施設建設」を推進する考え
活動 / 報告書等情報はHPから http://www.kagawayoji.com/ 昭和39年高松第一高等学校卒業 昭和43年山口大学農学部獣医学科卒業 同年から2年間米国タンパ市 Busch Garden 平成9年(財)栗林公園動物園退職(副園長) 平成11年より高松市議会議員(3期目) 資格: 獣医師及び学芸員他
youtubeで138本の情報発信中10/3